

## 勉強報告会を終えて

高橋 出

### I. はじめに

今回の勉強報告会に向けて、今まで以上に初等部教育の発表という位置づけにしたいと考え臨んだ。また、発表者の考えを更に共有することを目標に掲げた。この2点を柱に準備が進むよう高橋が勉強報告会の担当となった。簡単ではあるが、振り返ってみたい。

### II. 報告会までの準備

今回、三つの目標を立て初等部教師全員で臨んだ。

- 1、初等部らしい生活に根付いた学習の発表を行う。
- 2、組全児童で取り組み発表をする。
- 3、学習した事を堂々と発表する。

これらの目標を達成する為に初等部教師は、4月から相談を重ね教師間で情報を共有し、お互いに聞き、アイデアを出し合い、初等部教育の発表となる様に努めた。

次に、今回初めてお二人の講師、元初等部部長宮本正子先生、九州大学教授増田健太郎先生をお招きした。私達の教育について講評して頂く事が今とても重要であると考えたからだ。午前の発表から出席していただき、午後には振り返りの時間を持ち、大変有意義な機会を与えられた。

また、教育内容・活動の発信という観点から以前より多くの小学校、幼児教室、一般の方、近隣の方などにも積極的にお知らせをした。

### III. 報告会の内容

勉強報告会は12月7日(土)9時より約350人の方を迎えて、初等部体育館で行われた。今回は

「木とことば」を報告の中に取り入れた。

<プログラム>

1年・2年 総合 ことばの発表

「はらぺこあおむし」

3年 総合 木とわたしたちの生活

4年 社会科 「リサイクル」を調べて

5年 国語科 朗読 「雪わたり」

6年 社会科 日本国憲法

各学年代表 生活文章

全学年 全校合唱 「ひとつぶのいのち」

### IV. 発表を終えて

午後は全教師が宮本先生・増田先生を囲んで振り返りの時間をでは、先生方から「子どもと教師の関係の良さが現れていた。勉強したいと思う事を調べ、発表できる幸せはない、羨ましい。発表を普段の生活にもつなげていく。」事など多くの貴重なご意見を頂いた。

自分の子どもの発表や歌に合わせて口を動かす父母が何人もいた。家庭と学校が協力し子ども達の報告を応援した。また、今回特別にご指導頂いた先生方にも恵まれた。多くの方の協力によって終える事ができ心から感謝したい。またひとつ初等部に宝物が与えられた。終わってしまったとさびしいと感じる子どもがいた。子ども達1人1人の中にもこの学びが宝物として残った。

### V. 終わりに

今回はここまで述べてきた事のほかに学習過程を具体的にあらわした図をのせておく。新しいこ

とに取り組む事は大変であるが、今までにない成果や喜びを味わえた。もちろん課題も与えられた。満足する事は満足し、自信につなげ、反省すべき点は反省し、前を向いて将来のある子ども達の成長を支え、導くことが教師の役割であることを再確認できた勉強報告会であった。